



## 9月4日(木) 人権参観 3限(1・3・5年)・4限(2・4・6年)

### ○人権教育ってなあに？

人が人として当たり前前に安心して生きる。昨今のニュースを見ていると、当たり前でないことは明白です。とても残念なことです。どうやったらみんなが当たり前前に安心して生きることができるのか、これを考えることが人権教育の根本だと思っています。

人は誰かしら人と関わることで生活をしています。すると考えや感じ方の違う者どうしが関わるのですから必ずと言ってよいほど問題が生じます。こうした問題を解決する際、白黒はっきりできることは、まず無いと思っています。自分にも相手にも言い分があり、様々な矛盾や思いの違いをより良い形にしていく作業ですから、簡単なわけはありません。答えが出ない場合もあるかもしれません。人にできることは、より良い答えにたどり着こうとお互いの立場を理解し合いながら考えつづけることでしょうか。

【 9月4日(火) 人権参観で取り組む学年テーマ 】

- 1年生・2年生・・・集団づくり
- 3年生・・・インクルーシブ教育
- 4年生・・・ジェンダー
- 5年生・・・多文化共生
- 6年生・・・平和、部落問題

それぞれ上記のテーマで授業を展開しますが、保護者の方には各テーマで問題だと感じられることをご自身ならどのように捉え、子どもたちに伝えていくかという視点で参観いただき、ご感想・ご意見をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

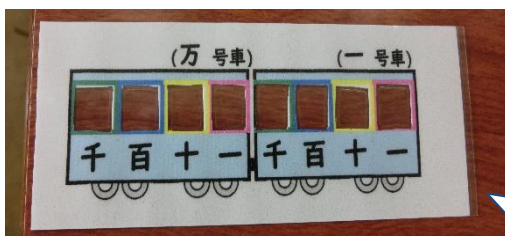
### 授業風景より・・・

保護者の方のご自身が受けてきた授業イメージとはどのようなものでしょうか。その時間のやるべきことが決まっていて、先生が提示され、その課題を自分で考えたり、班で考えたりしながら、最終クラス全体で発表し合い、大切なポイントをまとめる。だいたいこのような感じでしょうか。



右の写真はあるクラスの算数の授業で、8桁までの数を読んだり、書いたりしながら大きな数の理解を約10時間ほどかけて学ぶ内容の2時間目にあたる授業風景です。この10時間の内、2時間目と8時間目は「学びタイム」を実施します。

この時間には、子どもたち個々の学習進度に合わせた内容を「誰と学ぶか」を決めて取り組みます。1人から複数人、先生と学ぶ子もいます。自分の学習スタイルを決めて学ぶのです。こうして、自分が選択した学び方が良かったかどうか、振り返って自らの学習方法を決めていく材料にします。言い方を変えれば、何かを学ぶということは一生続けていくものであり、その方法を獲得するには、これまでの受け身的な授業ではなく、自分で学び方を選択していく力を身につけていく必要があると考えます。こうした取り組みを、先生方が少しずつ始めた新田南小学校です。また機会がありましたら、少しずつ授業の様子を紹介していきます。



4桁ずつ捉えて読めるよう、この道具の使い方は練習しますが、あとは個々の必要性に合わせて使っていきます。